

中古厨房機器のレンタルサービス開始

テンポスグループ子会社のテンポスドットコム（東京都大田区、森下篤史社長）は中古の厨房機器レンタルサービスを5月から全国展開する。これまでは依頼案件ごとに見積もりで対応していたが、商品別にレンタル価格を設定し、各店舗のほかネット上でも受注できるようにする。

テンポスバスターズの名古屋地区3店舗と関東地区2店舗で試験運用を開始し、今月30日までに長期レンタルに対応できる体制を構築する予定。中古厨房機器の購入やリースに加えてレンタルという選択肢を増やすことで、開業資金の抑制や早期黒字化をサポートする。飲食店側は商売が軌道に乗ってから新たに厨房機器を購入したり、機器を入れ替えたりできる。

テンポスグループは飲食店から厨房機器を買い取り、再生センターでメンテナンスをして再販売するリサイクルモデルを全国展開している。このエコシステムの強みを活かし、レンタルサービスでも格安料金を実現した。

当初はレンジやシンク、食器洗浄機、自動炊飯器、冷凍冷蔵などを扱うが、今後は製菓製パン、製麺などの食品機械のほか、給食センターで使用する回転窯、病院などで使う配膳台車なども加える予定。「新たな需要開拓で初年度は売上げ1億円、5年後は10億円を見込む」（同社）。



レンタル厨房機器はネットから選ぶこともできる

2019年4月17日（水）号

https://sv49.wadax.ne.jp/~food-eng-jp/?action_user_viewtop=1&r=Lnt0YvX0Zo595